

ピアノソナタ全曲演奏会

ベートーヴェン

32人のピアニストによる

Aug. 7
No.1 ~ No.15



No.2 田中あかね



No.1 楠木由希子



No.6 萩野由里可



No.5 榎原響子



No.4 八島伸晃



No.3 松島千波



No.10 川端友紀子



No.9 加藤花音



No.8 今鉢優太



No.7 柳澤光彦

Aug. 8
No.16 ~ No.32



No.17 中山ナミ子



No.16 加藤七海



No.13 土橋礼佳



No.12 増澤明希子



No.11 吉岡里紗



No.20 川村美穂



No.19 阪本彩楓



No.18 吉橋雅孝



No.15 鹿俣美湖



No.14 秋田街子



No.24 野島恵美



No.23 佐渡建洋



No.22 清水楓子



No.21 大塚直子



No.28 今川裕代



No.27 川谷早紀



No.26 亀山歩



No.25 藤岡由記



No.32 川村文雄



No.31 松本望



No.30 北畠稚



No.29 後藤泉

主催 一般社団法人 オフィスアドロフ
協賛 consonantia pianos
後援 公益社団法人 日本演奏連盟
朝日カルチャーセンター新宿
新田孝弘和(音楽評論家)
浅岡弘和(音楽評論家)
中野雄(音楽プロデューサー)
廣瀬康(ピアニスト 桐朋学園大学名誉教授)

《マネジメント》
公益社団法人 日本演奏連盟
(コンサート・アシスト)
03(35539)5131
《プレイガイド》
東京文化会館チケットサービス
03(5688)0650
イーブラス eplus.jp
(スマートフォン/PC/スマートマート店舗)



一日券
自由席

前売り

5000円

当日 6000円

東京文化会館小ホール
13時半開場・14時開演

令和6年8月7日(水)・8日(木)

演奏者プロフィール

No.1 楠木由希子 Kusunoki Yukiko

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。国内外や大使館、領事館などで演奏活動。これまでにザルツブルグやボーランドを代表する室内楽と共に演じ、「自分らしく生きる愛と平和の世の中を創る」ことを志に、現在、後進の指導の他にコンサートの企画・プロデュース、地域コミュニティを育む音楽プロジェクトを各地で行う。人と地域と音楽を繋ぐ集合住宅「音楽のいえ+」を監修。近年ではインドのデリー・コルカタ・チェンナイ各地で演奏活動を行い、その様子を大手新聞各紙等に取り上げられる。三井物産公式冠コンサート、在チェンナイ、コルカタ日本国総領事館の協力を得て Tollygunge Club 等でソロリサイタル、ハンセン氏病コロニーへ訪問演奏、タゴール国際大学にて日本人初のピアノソロコンサートを行った。演奏表現学会会員。
<https://officeadolf.wordpress.com>

No.4 八島伸晃 Yashima Nobuaki

3歳からピアノを始める。麻布学園高等学校の音楽部所属中に音楽の道に興味を持ち始める。桐朋学園大学音楽学部を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科および作曲科を卒業。2013年度桐朋学園作曲作品展、New York City Electroacoustic Music Festival 2016に自作品を出品。第17回ローゼンストック国際ピアノコンクール入賞。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンにて Marie-Catherine Girod 氏のマスタークラスを受講。これまでにピアノを秀野木綿子、山田富士子、作曲を三瀬和朗、久木山直、ジャズピアノを若井優也各氏に師事。ラヴェル、ドビュッシーを中心とした近代フランス音楽が好き。自作品、ジャズにもフォーレの教会旋法を生かしたメロディーや、ラヴェルの緻密な和声進行、ドビュッシーのピアニズムの影響を受けている。クラシックに限らず幅広いジャンルの演奏活動を行う。

No.7 柳澤光彦 Yanagisawa Mitsuhiro

千葉県出身。東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学院修了後、全額奨学金を得て米シカゴのデボール大学音楽学部で研鑽を積む。これまでに猪原和子、石井克典、関根有子、野島稔、G.ヴァチナーゼ、若林頸の各氏に師事。日本演奏家コンクール第1位、かずさアカデミア音楽コンクール第3位ほか、複数のコンクールで入賞を果たす。

継続的なソロリサイタル開催に加え、声楽を中心とする伴奏者として各地で活躍し、現在はシティオペラちら、シャウティングフォックス、アンサンブルシエルマルディ、アンサンブルふたわ、女声コーラスドルチェの各団体でピアニストを務める。音楽館ピアノ講師、千葉市音楽協会会員。

No.10 川端友紀子 Kawabata Yukiko

桐朋女子高等学校音楽科、慶應義塾大学卒業。パリ・エコールノルマル音楽院高等演奏課程修了、及び室内楽クラスを審査員満場一致で修了。(財)野村国際文化財団、Zygmunt Zaleski Stichting 財団奨学生。PTNA 全国大会銅賞、全日空賞受賞。全日本学生音楽コンクール東京大会本選入選。マイエンヌ国際ピアノコンクールファイナリスト。欧州、日本でのソロリサイタルをはじめ、マコン夏の音楽祭等、各地のコンサート、室内樂・オーケストラ公演に出演。これまでに、海老原ゑみ子、多美智子、広瀬康、セシリ・ユガーナー=ロッシュ、ジャック・ルヴィエの各氏に師事。

桐朋学園大学特別招聘講師、同大学音楽学部附属子供のための音楽教室お茶の水教室講師。

No.13 土橋礼佳 Dohashi Reika

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。同研究科修了。ドイツ国立マンハイム音楽大学大学院ソリスト演奏家課程を最高点で修了。ドイツ国家演奏家資格取得。PTNAピアノコンペティション銀賞、パドヴァ国際音楽コンクール第1位他多数入賞。ドイツ・ハーフェラント音楽祭、イタリア・パドヴァ音楽祭など、ヨーロッパ各地の演奏会に出演。国内外のオーケストラとピアノ協奏曲を共演。日本演奏連盟主催 東京文化会館ピアノリサイタルに出演。ソロ及び室内楽奏者として演奏活動の傍ら、桐朋学園大学附属子供のための音楽教室ピアノ科講師として後進の指導にもあたり、PTNA指導者賞受賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会他審査員。

2024年8月8日(木) No.16 ~ No.32

No.16 加藤七海 Kato Nanami

桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。第30回JPTAピアノ・オーディション地区優秀賞受賞、フレッシュ・コンサートに出演。第6回K kidsピアノ・ヴァイオリンコンクール第2位。第4回六本木国際ピアノコンクール大学・一般の部第2位。第31回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門大学女子の部第5位。2022年度、学内成績優秀者による Student Concert に出演。第32回京都フランス音楽アカデミー受講、優秀受講生による受講生コンサートに出演。第26回リスト音楽院セミナー受講、優秀受講生による受講生コンサートに出演。

2024年秋より、ハンガリー・ブダペストのリスト音楽院(The Liszt Ferenc Academy of Music)に入学予定。荻野千里、広瀬康の各氏に師事。

No.19 阪本彩楓 Sakamoto Sayaka

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業後渡欧。ウィーン国立音楽大学修士課程ソリスト科、そして同大学 Postgraduate 課程を優秀の成績で卒業。第6回全日本学生音楽コンクール大阪大会入選。第18回ショパンコンクール in Asia 第2位。第5回 Tadini 国際音楽コンクール(イタリア)にて第2位、第21回 Euterpe 国際音楽コンクール(イタリア)にて第1位等、その他多数の国内外のコンクールにて入賞を果たす。また、ウィーン国立音楽大学在学中にオーストリア、イタリアにて定期的にソロリサイタルを行う。日本演奏連盟主催 新進演奏家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ Osaka に選出され、住友生命いづみホールでのソロリサイタルに出演。

No.22 清水楓子 Shimizu Fuhiko

東京音楽大学音楽学部器楽専攻ピアノ科卒業。現在同大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域ピアノ1年で在学中。第32回日本クラシックコンクール大学生部門全国大会第5位。第24回日本演奏家コンクール大学生部門芸術賞受賞。これまでにピアノを松田映子、橋場多恵子、浜野与志男、石井克典の各氏に師事。

No.25 藤岡由記 Fujioka Yuki

お茶の水女子大学大学院修了。これまで日本のかオーストリア、ドイツ、ハンガリー、フランス、ボーランドにおいてコンサートに出演。Luz Leskowitz, Salzburger solisten, Prima vista など海外の演奏家との室内楽共演も多い。2017年 Marc Callahan と共に演じたショーベルト《冬の旅》は、誌上で高く評価された。一方、日本人作曲家のピアノ作品を研究し日本音楽学会他で論文を発表。博物館やTV番組等への資料提供も多い。CD ライナー等の執筆、各種コンクール審査員などその活動は多岐に渡る。現在、東海大学、茨城キリスト教大学講師。遠藤秀一郎、Adam Wibrowski 各氏に師事。

No.28 今川裕代 Imagawa Hiroyo

シュトゥットガルト国立音楽大学、ザルツブルク・モーツアルテウム国立音楽大学修士課程首席卒業。A.マルシャン、H.ライグラフ各氏に師事。ショーベルト国際ピアノコンクール、ブラームス国際音楽コンクールにて第2位、サヘルノ国際ピアノコンクール第1位及び最優秀ドビュッシー賞、オーストリア政府よりヴュルディング賞受賞。英国王室宮殿内での御前演奏やヨーロッパ各地の音楽祭出演のほか、N響、東京フィル、新日本フィル、チェコ国立ブルノフィル等、国内外の数多くのオーケストラと共に演じ。多彩な音色と繊細な表情性、洗練された音楽性が高く評価され、幅広く活動を展開している。現在、大阪芸術大学演奏学科教授、及び東京音楽大学指揮科特別アドバイザーを務める。

No.31 松本望 Matsumoto Nozomi

北海道出身。東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業。2003年東京文化会館主催合唱作品作曲コンクール最優秀賞。2007年第4回リヨン国際室内楽コンクール、2009年第55回マリア・カナルス国際音楽コンクール・ピアノトリオ部門でそれぞれ第1位受賞。在学中より作曲と演奏の両分野で活動を開拓し、作曲では近年、日本本邦合唱コンクールや NHK 全国学生音楽コンクールの課題曲の作曲者となり注目を集め。演奏ではアンサンブルを中心に活動、国内外のアーティストと共に演奏を重ねている。東京藝術大学吹奏楽科伴奏助手を経て、現在、国立音楽大学、洗足学園音楽大学、各非常勤講師。

No.2 田中あかね Tanaka Akane

東京芸術大学音楽学部器楽科及び同大学院修了。在学中、安宅賞受賞。芸大オーケストラと共に演じ。ミュンヘン国立音大マイスターコース修了後、ザルツブルグモーツアルテウム音楽院で研鑽を積む。全日本学生コンクール、日本モーツアルト音楽コンクール等に入賞。1993年東京文化会館でデビューリサイタル。約10年に亘りドリットで活動する。毎年ミュンヘンのガスタイル等でリサイタル、又、朝日カルチャーセンター、学校訪問等レクチャーコンサートも行う。製作責任者にハイツ・ヴィルトハーゲン氏を迎えたCDを3枚リリース。

中島和彦、深澤亮子、笠間春子、田村宏、ゲルハルト・オピツ、ハンス・ライグラフの各氏に師事。一社)オフィスアドルフ代表理事。

<https://officeadolf.wordpress.com>

No.5 植原響子 Sakakibara Kyoko

桐朋学園大学音楽学部音楽学科および同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

第30回、第31回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。2019年、上野学園大学による午後のコンサート・シリーズ24「クララ・ショーマンをめぐる世界」に出演し、好評を博す。2020年、弦管楽器で楽しむ「思い出の学校クラシックコンサート」に出演。2023年、ミュンヘン(ドイツ)にて、ハンス・ユルグ・シュトループ氏のマスタークラスを受講し、選抜コンサートに出演。

これまでにピアノを坂元美由記、松山優香、松井美芽、山崎紫乃、広瀬康、二台ピアノを武田美和子、室内楽を佐藤まどか、松崎裕、ミハイル・カンディンスキーの各氏に師事。

No.8 今鉢優太 Imahoko Yuta

幼少より母の手ほどきによりピアノを始める。

第67回全日本学生音楽コンクール小学生部門入賞。

第8回北本ピアノコンクール第1位、第13回大阪国際音楽コンクール第3位など、さまざまなコンクールにて多数受賞。

藤本紀子、広瀬康の各氏に師事。

現在、慶應大学にて量子コンピュータを研究中。

No.11 吉岡里紗 Yoshioka Lisa

5歳からピアノを習い始め、香川県立坂出高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。現在、同大学大学院1年で在学中。

PTNA ヤマハ特別賞、香川県支部長賞受賞。高松市文化芸術活動助成事業アンサンブルワークショップ in 高松終了コンサート出演。六本木国際コンクール部門3位2023年ドイツにてハンス・ユルク・ストゥループ氏によるマスタークラスを受講。

今までに植松起代子、山内由佳、前田拓郎、田嶋靖子、広瀬康の各氏に師事。

No.14 秋田街子 Akita Machiko

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。卒業演奏会公演。第56、57回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第2回北本ピアノコンクール第1位、実行委員長賞。第2回栃木県ピアノコンクール第1位、栃木県知事賞。

第16回コンセール・マロニエ21第3位。銀座王子ホール等日本各地にてソロリサイタル開催。足利市民交響楽団とピアノ協奏曲共演。

NHK 交響楽団メンバーによる室内楽演奏会にてピアノ五重奏曲共演。

第9回栃木県ピアノコンクール指導者賞。第29、30回日本クラシック音楽コンクール優秀指導者賞。日本クラシック音楽コンクール、全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会等審査員。

これまでに須永多恵子、清水和音、広瀬康の各氏に師事。現在、桐朋学園大学芸術短期大学非常勤講師。桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室講師。

No.20 川村美穂 Kawamura Miho

武蔵野音楽大学音楽学部器楽有鍵楽器(ピアノ)専攻卒業。

ドイツ・ハンブルク音楽院にてピアノを専攻、1年間のコースを修了。

在独中、元西ドイツ首相H.シュミット氏の御前にてオーディションを受講。

Eutiner Weber-Tage 2004にて歌曲伴奏を務めるなど、室内楽・伴奏方面でも研鑽を積む。これまでに追田時雄、田中麗子、M.ヴェーバーの各氏に師事。第7回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。

第11回カワイクラシックオーディション入賞、他あり。

ソロリサイタル開催ほか、東京交響楽団団員とトリオ、2台ピアノ等室内楽含め、数々のリサイタルに出演している。

現在、埼玉福祉保育医療製薬調理専門学校保育士科非常勤講師。

No.23 佐渡建洋 Sado Takehiro

東京学芸大学附属高校を経て、2012年東京藝術大学音楽学部卒業。

在学中、同大学モーニングコンサートのソリストに選出、藝大フィルハーモニアと共演。同声会賞受賞、調律師協会主催新人演奏会公演。

2015年同大学院修了。ドイツ・ザクセン州より奨学金を得て、2015年渡独、2018年ドレスデン音楽大学マイスタークラス修了。

帰国後は東京を中心に演奏活動を開拓し、後進の指導にも力を注ぐ。元東京藝術大学ピアノ科非常勤講師。

金澤希伊子、多美智子、追昭美、Winfried Apel の各氏に師事。

日本ピアノ教育連盟(JPTA)正会員。JPTAピアノオーディション、日本クラシック音楽コンクール全国大会審査員。

No.26 亀山歩 Kameyama Ayumu

宮城県出身。桐朋学園大学附属桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て桐朋学園大学卒業。第9回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 全国大会銀賞。

第22回ショパン学生ピアノコンクール in TOHOKU 大学生の部2位。第8回仙台国際音楽コンクール関連事業街かごコンサート「はばたけコンチャレット Vol.3」出演(地震によりクローズ公演)。

これまでにピアノを小林真理子氏、竹内啓子氏、現在は沼澤淑音氏、島田彩乃氏に師事。室内楽を川村文雄氏、沼澤淑音氏、入江一雄氏、三原未紗子氏、若林頸氏、豊田弓乃氏、吉武優氏に師事。チェンバロを植山けい氏に師事。

現在桐朋学園大学大学院音楽研究科博士後期課程1年で在籍。

No.29 後藤泉 Goto Izumi

桐朋学園高校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。同大学アンサンブル・ディプロマコース修了。田沢恵巳子、ゴードン・ベルク山根美代子、三浦みどり、P.ボンティエの各氏に師事。ウィーン・フィル首席奏者をはじめ海外のトップ奏者と数多く共演するほか、ソリストとしても内外のオーケストラと協演。ベートーヴェン交響曲(リスト編曲ピアノ版)第1番、第3番「英雄」、第4番、第6番「田園」、第9番「歓喜の歌」の3枚のCDをリリース。2020年ベートーヴェン生誕250年に向けて行われた、ピアノソナタ全32曲のレクチャーコンサートが完結。続編としてベートーヴェン交響曲(リスト編曲ピアノ版)シリーズが行われるなど様々な形での演奏活動を続けている。

No.32 川村文雄 Kawamura Fumio

福井県生まれ。桐朋学園大学音楽学部演奏学科を首席で卒業。

第67回日本音楽コンクールピアノ部門第2位、第23回ポツツォーリ国際ピアノコンクール最高位(1位なしの2位)。第51回マリア・カナルス国際音楽コンクールピアノ部門第3位。2002年の東京文化会館におけるデビューリサイタル(日本ショパン協会主催)を皮切りに各地にてソロ活動を開拓し、コンチェルトや室内楽の共演も多い。

2008年より2021年にかけ、桐朋学園大学音楽学部および桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)にて後進の指導にあたる。

これまでに大野真嗣、広瀬康の両氏、ディーナ・ヨッフェ氏等に師事。

これまでに野田真嗣、広瀬康の両氏、ディーナ・ヨッフェ氏等に師事。